

人が本来持っている「惻隠の情」

「雑学BN」の「TV番組等紹介欄」で紹介している3夜連続の「命の輝きスペシャル」の初日の放送を見たあるメル友から、早速次のような感想が届いた。

【 さっきまで「いのちの輝き」という番組を見ていました。

ボリビアで障害のある子供達を支援している日本人の方の活動が紹介されていました。人って、こんなに優しく、また力強くなれるんだと、人の素晴らしさを教わり、生き方に感動してしまいました。】

早速、次のように返信した。

【 自分も番組を見ましたが、人って本質的に優しさは誰もが持っていますよね。

就職して間もない頃、院長から中国の「惻隠の情」の言葉を紹介されました。

《 盲目の少女が歩いてくる道の真ん中に、大きな水たまりがある。

人は誰でもその少女に手を差し伸べて、水たまりを避けるように誘導するもの。

その時、人は少女を助けてその少女の親から報酬を貰おうとか、自分の行為を他の人に自慢しようとか、また、人が見てるからカッコいいところを見せようなんて考えて手を差し伸べるのでない。

それが人が本来持っている優しさであり、「惻隠の情」という。》との院長の話でした。

「誰もが自分の内にある『惻隠の情』に従い、素直に行動に移す勇気が大事」と院長から教えられたと、今でも思っています。

ボリビアで活動する女性は、自分の内なる想いに素直に従い、行動に移す勇気はやはり凄いですよね。

人が、こうしたTV番組を見て感動するのも、自分の内なる「惻隠の情」と共鳴するからでないでしょうかね。

その人が本来自分の内に持っている「惻隠の情」を再認することは、そう難しい作業を伴うことでないような気がします。

ですから、みんながそれを自らが気づき育みつつ行動に移せば、互いに助け合うことはそう難しいことではないように思えるのですが……。】